



おばま 市議会だより

No. 156

議会報告会を開催しました P2
6月定例会の概要 P3
市政を問う！一般質問 P6

議会報告会を開催しました

5月11日（金）、5月23日（水）、5月25日（金）の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。3月定例会や北陸新幹線の取り組みについて報告した後、意見交換を行い、幅広い分野の貴重なご意見を数多くいただきました。

○議会報告会とは？

小浜市議会基本条例（平成25年4月1日施行）により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご

意見を議会に反映させることとしています。いただいたご意見を議会報告会連絡会において整理し、必要に応じ政策討論会（全議員）での自由討議等を経て、政策立案や理事者へ提言します。またその他のご意見は

理事者に回答を求め、議会報告会報告書としてまとめ、後日各地区公民館にお届けするとともに、小浜市議会のホームページに掲載いたします。今回は合計294名の方にお越しいただきました。（前回合計299名）

		合計	前回10月(合計)	前年度対比
参加者数		294	299	-5
(前回10月)		299		
アンケート	回収枚数	262	287	-25
	回収率 (%)	89.1	96.0	-6.9
性別	男	232	242	-10
	女	16	27	-11
	無回答	14	18	-4
年齢層	30歳未満	1	1	0
	30歳代	11	10	1
	40歳代	67	55	12
	50歳代	91	92	-1
	60歳代	75	97	-22
	70歳代以上	14	25	-11
	無回答	3	7	-4
きっかけ	①議会だより	42	41	1
	②議会HP	2	4	-2
	③依頼文書	141	165	-24
	④議員	33	61	-28
	⑤知人	28	21	7
	⑥その他	43	25	18
評価	①わかりやすかった	92	121	-29
	②どちらとも言えない	121	129	-8
	③わかりにくかった	20	14	6
	無回答	29	22	7
		合計	299	

		合計	前回10月(合計)	前年度対比
今後のテーマ希望	①議会	34	47	-13
	②福祉	47	75	-28
	③防災対策	100	157	-57
	④まちづくり	139	148	-9
	⑤産業	74	92	-18
	⑥観光	55	50	5
	⑦教育	47	55	-8
	⑧歴史や文化	12	14	-2
	⑨環境問題	33	29	4
	⑩その他	9	4	5
議会だより	①毎回見ている	96	114	-18
	②部分的に見ている	130	145	-15
	③見たことがない	31	24	7
	④発行を知らない	3	2	1
		無回答	2	0
開催時間	①早い時間がよい	24	—	—
	②この時間でよい	211	—	—
	③遅い時間がよい	6	—	—
	④その他	5	—	—
過去の参加	①初めて	89	—	—
	②ときどき	75	—	—
	③毎回	47	—	—
		無回答	31	—

※開催時間、過去の参加状況に関する質問は平成30年春季から新規項目



1班



3班



2班



4班

6月定例会の概要

平成30年第2回定例会
が6月7日から28日ま
で、22日間の会期で行わ
れました。

今定例会では、一般会
計補正予算のほか、条例、
その他議案等を慎重に審
議しました。
主な内容については次
のとおりです。

条例

◆小浜市市税条例の一部
改正について

賛成全員で可決

陳情

◆所得税法第56条の廃止
を求める意見書採択に
ついて

賛成全員で可決

◆地方消費者行政に対す
る財政支援(交付金等)
の継続・拡充を求める
意見書採択に関する陳
情

賛成全員で可決

◆エネルギー基本計画に
原子力発電所の新增
設・リプレースを明記
することを求める意見
書の提出に関する陳情

賛成少数により否決

意見書

◆所得税法第56条の廃止
を求める意見書

賛成全員で可決

◆地方消費者行政に対す
る財政支援の継続・拡
充を求める意見書

賛成全員で可決

人事案件

◆固定資産評価審査委員
会委員の選任について

平井 良和氏(飯盛)

賛成全員で同意



【可決した平成30年度補正予算】

会計名	既決予算額	6月補正額	合計
一般会計	158億 1,800万円	3億 9,897万円	162億 1,697万円
特別会計	88億 8,177万円		88億 8,177万円
企業会計	9億 1,102万円		9億 1,102万円
計	256億 1,079万円	3億 9,897万円	260億 976万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります。

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか?? 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
2. 画像データは1作品2~3MB程度のJPEGデータ

※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2~3MB程度でお願いします。

【応募方法】

- ・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.fukui.jp

- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

平成30年第2回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	平成29年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について
	平成29年度小浜市一般会計予算事故繰越しの報告について
	平成29年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について
	平成29年度小浜市農業集落排水事業特別会計予算繰越明許費の報告について
	平成29年度小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について
	株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について
予算	平成30年度小浜市一般会計補正予算(第1号)
	平成30年度小浜市一般会計補正予算(第2号)
	専決処分につき承認を求めることについて(平成29年度小浜市一般会計補正予算(第10号))
条例	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市市税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)
	専決処分につき承認を求めることについて(小浜市都市計画税条例の一部改正について)
	小浜市市税条例の一部改正について
陳情	所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について
	地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書採択に関する陳情
意見書	所得税法第56条の廃止を求める意見書
	地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求める意見書
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任について(平井良和氏)



【採決表示ボタン】

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会 検索

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)
 ※下中雅之議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	賛成	反対
			久恵	雅之	輝雄	靖人	博	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦		
陳情	エネルギー基本計画に原子力発電所の新增設・リプレースを明記することを求める意見書の提出に関する陳情	否	×	×	×	○	×	棄	×	○	×		×	×	×	×	×	×	×	2	13

寄附行為の禁止はNG

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に對しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。
 禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集會や旅行など催し物への差し入れ
 - お祭りへの寄附や差し入れ
 - 地域の行事や運動會への差し入れ
 - 病氣見舞い
 - 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
 - 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
 - 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
 - お中元やお歳暮
 - 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)
- また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。



委員会審査

予算決算常任委員会 (6月補正)

◆ふるさと自立活性化 推進事業

1921万円

問 観光消費拡大は企業努力ですべき事業では。

答 この事業の利益はコミュニティビジネスとして地区に還元する仕組みである。

意見 コミュニティビジネスと企業活動の境界線があいまいなので、他の地区にも波及するような運用をして欲しい。

◆園芸産地広域拠点整備事業

4745万2000円

問 市場価格のニーズに合った施設なのか。

答 トマトを中心にした野菜を、計画的に販売するための集出荷施設である。



◆小浜駅前インフォメーションセンター整備事業

496万円

問 外国人への対応は。

答 政府の外国人観光案内所認定制度の英語を使える職員が常駐する「カテゴリー2」を指して、インバウンド機能の向上を図る。

◆都市再生整備計画事業(小浜地区中・西部地域)

1億5955万円

問 いづみ町の拡幅に伴う駐車場やポケットパークの考え方は。

答 駐車場の計画は無い。車の乗降は車道の横の停車帯で行う。ポケットパークについては、いづみの広場交流館というものを地元と協議している。

◆公営住宅火災復旧事業

2481万円

問 修繕期間中の被災者家賃減免の適用条例は。

答 小浜市営住宅管理条例第15条、同施行規則第12条に基づいている。

意見 家財等を新調するには金銭的に相当厳しいので、しばらくの間家賃の減免も検討して欲しい。

総務民生常任委員会

◆議案第47号 小浜市市税条例の一部改正について

内容 中小事業者等が生産性の向上のために設備投資を行うことを支援するため、償却資産の固定資産税を3年間軽減するもの。

問 減収額の見込みと設備投資の推進について見解を問う。

答 以前の同様の特例措置を、今回の課税標準に換算すると、1年間で62万8600円の減収。また企業全般からの要望と捉えており、対象企業には、優遇措置があり、取り組みやすいものである。

◆陳情第3号 所得税法第56条の廃止を求める意見書採択について

説明 中小事業者等の家族従業員の人権保障の基礎をつくるため、所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求めるもの。

意見 所得税の観点から、世帯単位の課税である所得税法第56条は不合理である。

意見 国会でも廃止に向けて検討されているのから理解できる。



◆陳情第4号 地方消費者行政に対する財政支援(交付金等)の継続・拡充を求める意見書採択に関する陳情

説明 地方消費者行政への交付金が縮小しており、交付金等の財政支援の継続・拡充を求める意見

見書の提出を求めるもの。

意見 以前、約170万円の交付金が、本年度は71万円となり、相談員の報酬等に一般財源の充当が必要となる。

意見 全国知事会等も要望しており、地方の自治体には特に必要な交付金である。

地域防災・原子力安全対策特別委員会

◆陳情第2号 エネルギー基本計画に原子力発電所の新増設・リプレースを明記することを求める意見書の提出に関する陳情

説明 エネルギー基本計画に原子力発電所の新増設及び建て替えを明記することを求める意見書の提出を求めるもの。

意見 原子力発電所は稼働上のリスクや放射性廃棄物処理等のさまざま課題があり、今最も優先すべきは住民の安全・安心であり増設や建て替えを

推進する趣旨は容認できない。一方で、将来的に再生可能エネルギーの重要性は認識するも、実際には世界の主要国の一部では現在もまだ建設中・計画中の原子力発電所が存在しており、また代替エネルギーの確約もなく、資源の乏しい我が国で原子力を含め多様なエネルギー確保が必要であり新増設やリプレースは排除出来ないとの意見もあり。



市政を問う！一般質問

平成30年第2回（6月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目	ページ	氏名	質問項目
6	風呂 繁昭	1. 財務書類について 2. 介護保険制度について	8	能登 恵子	1. 放課後児童クラブ現場から 2. ふれあいサロン増設と運営について
6	佐久間 博	1. 北陸新幹線敦賀開業に向けた取り組みについて 2. 小浜市の教育環境について 3. 「北前船日本遺産認定」の今後について	8	富永 芳夫	1. 東海第二原子力発電所の新安全協定を受けて
7	藤田 靖人	1. 介護予防と健康管理センターについて	8	垣本 正直	1. 小浜美郷小学校開校と地域の課題 2. 北陸新幹線早期全線開業の取り組みについて
7	牧岡 輝雄	1. 日本遺産を活かしたまちづくり 2. JR小浜線の利用促進および需要創出 3. 養殖事業について	9	熊谷 久恵	1. 立命館大学との連携協定について 2. SAVOR JAPAN認定について 3. 国体・障害スポにおける「おもてなし」とは
7	西本 清司	1. 今後の農業施策、方向性について 2. 「働き方改革関連法案」について	9	竹本 雅之	1. 市民福祉課窓口業務の民間委託について 2. 無期雇用転換制度について 3. 財政調整基金について



風呂 繁昭
議員

他の自治体との比較、分析や経年比較により財政状況の特徴や課題を把握することで今後の予算編成、資産の取得や除却など自治体の政策的な意思決定に活用し、財政運営の

国は平成27年1月に財務書類の統一的な基準マニュアルを公表し、全ての自治体に財務書類の作成を求めた。小浜市においても平成28年度決算から財務書類を作成し、平成30年3月30日に公表した。企業という貸借対照表や損益計算書の企業会計手法の作成である。市民から見ると分かりやすく起債の残（借金）等も記載される財務書類である。この作成の背景や目的、活用、周知について伺う。

財政運営の健全化が図れる、財務書類！

平成12年からは65歳以上は1400人増、介護給付費は19億円増、月額保険料は現在の6270円から8000円程度に。「ふれあいサロン」において介護予防に取り組むことが効果的で、元氣な高齢者を増やす。

健全化が図れる。職員一人ひとりが財務書類を理解し予算要求や行政財産管理に活用でき又活用策についても研修会を開き周知を図る。

団塊の世代が75歳となる2025年に向けて益々介護を必要とする高齢者が増加していく中で、これまでの制度改正により介護報酬の減額による影響や介護給付費の現状と今後の推移。家族がかかえる介護負担の軽減「家族介護からの解放」である現状と。何よりも要介護状態とならない元氣な高齢者を増やすことが大切である。今後の対応は。

六市町とJR西と協議して魅力的な地域づくりや観光列車の実現を目指したい。

統廃合により残った学校施設の方向性は、2年程は市教委が

北陸新幹線敦賀開業に向けた二次交通の充実が必要ではないか。

嶺南地域公共交通網形成計画を策定予定。高速化に向け快速列車等の実現を目指したい。

バスターミナル活用に向けた取り組みは、高速、路線バスやラウンドバスのニーズに応えたい。

嶺南鉄道整備基金の使い道の用途は、県と協議中で、嶺南六市町にとって最も効果的な事業にする。

敦賀—高浜間に食事のできる観光列車を走らせるのは可能か。



佐久間 博
議員

嶺南鉄道整備基金で二次交通の充実を！

港の倉庫群は寄港地らしい文化的景観として評価された。豊かな水文化との融合で、観光、まちづくりの場として検討していく。

市長の考えは、市民活動との連携や支援を進めて、港町小浜の魅力をもPRする。

管理する。活用方法が見つからない場合は、民間へ売却や取り壊しも視野に入れる。

次なる統廃合の考え方とスケジュールは、児童、生徒数の推移等を見極め、「検討委員会」で再検討する。

小中学校教師の残業労働などの対応は、部活動指導員や学校運営支援員を配置して負担軽減を図る。

教育長のお考えは、「より良い学校教育を通してより良い社会を創る」という目標を共有してキャリア教育の充実を図りたい。

「北前船日本遺産認定」を契機に津島名水と倉庫群の活用は、

一般質問



藤田 靖人
議員

問 健康管理センターのリニューアルについて検討状況を伺う。

答 平成26年度に基本計画策定業務や民間活力導入調査を行い、設計から建築、運営まで民間の資金や経営ノウハウを活かしたPFI手法を研究したが、建物規模が小さいため、一括発注でも経費の削減効果が少ない、介護予防事業の運営では独立採算が厳しく、民間事業者の参入は厳しいと判断した。現在、新たな健康管理センターに必要とされる機能を精査している。

問 健康管理センターについては、市民はリニューアルを期待しており、財源の確保に努力されていると思うが、現状はいかがか。

答 子育て支援セン

ターやフィットネススタジオなど、様々な機能を一つの施設に集約することにより活用できる補助制度等がないか調査している。1日も早くリニューアルできるように努力している。

問 市民が元気に生活できる健康づくりをより充実するためには、乳幼児から高齢者まで一貫した健康づくりが大切であり、健康政策、プランについて伺う。

答 健康管理センターが中心となり、健康づくりの普及啓発、各種健康の診査、相談、教育等を実施している。今後の取組みは「第二次健やかおぼま21」にあげた、①、健康的な生活の推進、②、生活習慣病の発症予防と重症化予防、③、健康を支え、守るための環境づくりを基本とし「おぼまの健康づくり10か条」を市民目標として、家族、友人、地域で取り組む仕組みづくりが必要と考える。

介護予防と健康管理センターについて



牧岡 輝雄
議員

問 JR小浜線の利用状況を伺う。

答 少子化による学生数の減少や、沿線人口の減少等により減少傾向が続いており、平成29年度は139万6千872人、対前年度比96%で、通学等の定期利用が80%、定期外利用が20%と、学生にとつて重要な移動手段となっている。

問 利用促進対策について伺う。

答 風雨等による遅延、運休を減らすための運行体制の強化、快速列車の運行、ICカードサービスの導入やホームエレベーター設置等、施設整備を県や運行事業者に要望しており、雨量規制についても、時間雨量20ミから30ミに規制緩和されたところである。市では、小

JR小浜線の利用促進および需要創出

浜駅トイレの洋式化や内装の美装化等、明るく快適で使いやすい施設に改修をした。また、二次交通の充実を目標として、電動アシスト自転車用小浜線の主要各駅に設置し、各駅間の乗り捨てや運営管理方法について協議を重ねる予定である。

問 嶺南鉄道整備基金の活用について伺う。

答 嶺南6市町では、嶺南鉄道整備促進基金の快速鉄道分として、約31億円を積み立ており、そのうち小浜市分は約13億円、県においても地域振興基金に約50億円を積み立てており、合わせて約81億円となっている。基金の活用については、嶺南地域の更なる発展のため、二次交通の充実・整備を軸として観光・交流の推進や定住・移住の促進等、相乗効果を生み出す事業に対して活用していきたいと、県知事に要望活動を行った。



西本 清司
議員

問 農業について、市の現状と国の政策の主な変更内容や影響、個別具体策等、施策と今後の方向性を伺う。

答 現状は就農者の減少と高齢化、耕作放棄地の増加、鳥獣被害が全国的な問題で市でも同様の課題を抱えている。この10年余り市内の耕作地は4%減少、一方、耕作放棄地は62%増加、鳥獣等被害はピーク時の14%程度で取組対策の効果は出ている。国の施策は平成22年からの農業者個別所得補償制度が平成30年度より廃止で大きな変換となった。その振替・拡充対策として麦や飼料用米他農産物に対する交付金の充実や、地域の担い手への農地集積・集約化を進めるため農地中間管

農業の方向性と「働き方改革」を問う

理機構を創設、また多面的機能支払制度の創設等の施策を講じてきた。当市としても担い手への農地集積等の施策が重要と考える。

問 「働き方改革関連法案」は現在国会審議中であるが、その内容等、また当市役所内での取組み等を伺う。

答 改正予定の法律案は雇用対策法、労働基準法、労働時間等設置改善法、労働安全衛生法、じん肺法、パートタイム労働法、労働契約法、労働者派遣法の8本である。主には残業時間上限設定、勤務間インターバル制度導入、同一労働同一賃金で正社員、非正規労働者の待遇に不合理な差の禁止等である。また地方公務員法及び地方自治法が昨年5月に一部改正され、市役所内でも非正規職員の任用根拠を明確にし、運用の適正化を図ることとし、服務規程や任期等も整備予定である。



能登 恵子
議員

問 放課後児童クラブは、年々需要が増えていく。その中で支援員・補助員の声から問う。①厚労省は支援員のなり手が少ない地方で一人を許す運営基準の緩和を検討しているが、小浜市では最低2人体制を。②待遇改善。③安全対策と保護者への連絡方法。

答 ①(市長答弁)最低2人体制を維持。②勤続年数等、実績や能力に応じた処遇改善を検討。③今年度は、全児童クラブで避難訓練を実施予定。災害発生時学校や保護者への情報提供に、安全対策システム作りをしていきたい。

問 2025年には、団塊の世代が後期高齢者になり、医療・介護・年金の財源と人材確保に問題が山積している今、大きな期待される対策の一つ「ふれあいサロン事業」各地区で内容豊かなサロンが開催されることを願う。①2025年の介護保険料想定ではないからか。②越前市では、男性が参加しやすいプログラムがたくさんある。それには事業費の補助金制度があるが、小浜でも。③遠敷の「やすらぎ荘」の取り組みを学んでみては。

子どもたちも高齢者も、支える人たちも

答 ①月額8206円になる見込み。②小浜では、社協が共同募金や草の根の助成金・地区の支援により開催されている。補助金なしで開催されている所もある。③今年度は、男性が興味を持つプログラムを検討。④やすらぎ荘では、週6日おしゃべりサロンとして自主的に集まっている。月1回はふれあいサロンとして活動。モデルケースとして紹介し、新たな集いの場の増設や回数増のきっかけへと実施。



富永 芳夫
議員

問 再稼働の事前了解の対象の範囲を立地自治体以外の周辺自治体に拡大したのは初めてのケースであるが新安全協定の内容を伺う。

答 新協定の内容は安全確保の最優先の責務、事前説明、意見交換、協議会の開催、実質的事前了解などである。

問 国に同意権(事前了解)の範囲等の法整備(法律で規定)を求める考え方がありますが市の考えを伺う。

答 国の責任において同意の範囲をきつちりと示すべきである。

問 5月8日付の中日新聞の記事によると、大飯発電所から半径5km圏(PAZ圏)の泊区、堅海区の全世帯を対象とした意識調査では、66・1%が再稼働の同意権が必要との考

東海第二発電所の新安全協定を受けて

えが示されたが、どのように思うか。

答 住民の皆様の不安の表れと考えており、今後も引き続き事業者等に安全確保について要望していきたい。

問 東海第二発電所の新安全協定の締結を受けて、市の考え方と今後の対応を伺う。

答 周辺自治体に実質的事前了解を得る仕組みが作られたことは、各発電所の立地地域により異なるが一つの変化である。PAZ圏に入る小浜市は立地自治体と同様の安全・安心の確保から、国には立地及び周辺地域の枠組みを見直し二元的に原子力行政の推進を図ること、又県には安全協定の見直しに協力することを求めている。事業者には立地並みの安全協定の締結を要望している。その実現は厳しいと認識してはいるが今後も市民の安全・安心のために引き続き粘り強く求めていきたい。



垣本 正直
議員

問 遠敷、松永、国富、宮川の各地区が実施する小学校閉校事業への支援並びに、交付金規定の制定を伺う。

答 予算措置の決定については、地区の取り組みに影響が出ないよう早期に決定する必要がある。9月議会に補正予算で対応したい。規定の制定は検討する。

問 小浜美郷小学校開校記念事業実施に伴う予算措置について教育委員会の考えを伺う。

答 記念事業検討委員会の方々と協議を行い事業の内容およびその費用負担についても検討させていたたく。

問 地域の避難施設について、廃校となる小学校の指定避難所は継続するのか伺う。

答 統合後の4校は備品整理のため2年程度

小浜美郷小学校開校にともなう地域課題

は教育委員会が普通財産として管理をするが、現在と同様の管理を続けることは困難であり方針が決まるまで校舎については原則使用ができなくなり避難所として活用は難しい。体育館は地元で管理・活用が可能な場合は継続可能と考える。今後、指定避難所のある方を検討する。

問 小浜美郷小学校を指定避難所として活用すべきと考えるか。

答 立地場所と自然災害の影響が比較的小さい地域であることから、今後指定避難所として活用する方向で協議を進める。

問 北陸新幹線の全線開業を見据えた新まちづくり構想策定にあたり、市民の意見を集約する必要がある。その方法について伺う。

答 今年11月下旬に、基調講演やグループワーク等による「新まちづくり市民集会」の開催を予定している。

一般質問



熊谷 久恵
議員

問 立命館大学と連携する目的は。

答 食マネジメント学部は、日本初の包括的・総合的に食を学び、食に関連するグローバルな諸課題を解決に導ける人材育成を目指す。本市の食のまちづくりの理念と一致しており、今までの取組みが科学的・客観的に検証され、食科学分野の発展と創造が目的。

問 内容と成果は。

答 食に関心を持つ学生350人余りと関係者が合わせて約400人が来訪し、35メニューを体験。町全体がキャンパスとなり質の高い食の体験学習を提供した。小浜と小浜が誇る食文化を知る機会になった。

【提案】 食の研究機関本市の課題解決に向けた外部シンクタンクと

人の大きな流れは明暗の分かれ道！

して有効な連携を求め。
問 SAVOR JAPAN 認定、全国大会受入の評価は。

答 15の認定地域、目指す地域、農水省、JTB、日総研など関係者150人が、市内視察と事例紹介・交流会を実施。全国の関係者が連携を深め、本市の取組みも認知。伝統を守りつつ先進的との高評価。

問 国体・障スポのおもてなしの準備は。

答 全国から訪れる、多くの大会関係者や一般観覧者が「気持ちの良い」と感じる大会とするため、競技会場や道路、河川など目にするものの環境を美しくし「おもてなしの心」をもって取り組んでいきたい。本市をPRできる絶好の機会であり、市民もボランティア活動を通じて、喜びと感動を共有できる機会であると考えている。

【提案】 一人ひとりが小浜の顔。「また来たい」そんなおもてなしを！



竹本 雅之
議員

問 財政調整基金の残高はどの程度あるのか。

答 平成29年度末で14億7135万5千円、前年度末から2億6437万6千円減少する見込み。本年度は、財政調整基金繰入金を3億600万円予算計上しており、平成30年度末積立額は1億6629万7千円の見込みである。

問 安心して暮らしていけるまちづくりを進めるための、財政調整基金残高の目標は。

答 財政調整基金は、災害等への対応や急激な経済変動など年度間の財源調整を図り、中長期的な財政運営を行うため、一定程度の積立金の確保が必要と考えている。持続可能な行財政運営を推進する

持続可能な行財政運営で安心のまちづくり

ため、第5次行財政改革大綱および行政経営プランにおいて、最終年度となる平成32年度末の財政調整基金残高の目標は、標準財政規模の1割に相当する8億9000万円としている。現時点では、自然災害等による緊急的な財政需要があっても、現在の財政調整基金で対応でき、市民サービスに影響を与えることはないと考えている。今後、社会保障関連経費や公共施設の更新等に伴う財政需要の増加などに対応し、さらに自然災害など不測の事態に備えることも必要などから、中長期的な財政需要を把握はもとより、類似団体の基金残高にも注視しながら、持続可能な行財政運営に努めていく。

【提案】 新幹線にかかると新たなまちづくりに向け、新たな特定目的基金の設置、または活性化基金の積み増しの検討を。

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

一次回定例会の日程

8月27日(月)	本会議
9月5日(水)	一般質問
9月6日(木)	一般質問
9月12日(水)	本会議
10月10日(水)	本会議

今月の表紙

6月10日小浜西組重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念の行事が開催され、八幡神社境内では江戸時代の中ごろ、京の都で芸能をもって商いをしていた藝商人の暮らしを上演。操り人形芝居や南京玉すだれ等の公演もあり、小浜の住民有志も、そば、団子、かんざし等を出店して大いに盛り上がりました。

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

4月

日	曜	行事等内容	出席者
1	日	小浜市視覚障害者福祉協会総会	副議長
5	木	交通指導員・防犯隊嘱状交付式および出動式	議長
7	土	若狭医療福祉専門学校・青池調理師専門学校入学式	議長
10	火	定例全員協議会	全議員
//	//	総務民生常任委員会、産業教育常任委員会	関係議員
13	金	総務民生常任委員会	関係議員
15	日	若狭マラソン開会式	全議員
//	//	佐久間艇長顕彰祭	全議員
16	月	広報委員会	関係議員
21	土	蘇洞門開き	議長・関係議員
//	//	小浜市老人クラブ連合会総会	議長
23	月	議会運営委員会	関係議員
//	//	若狭マリニピア 2018 実行委員会	議長
//	//	「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会小浜市実行委員会総会	全議員
24	火	北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
25	水	各派代表者会	関係議員
26	木	北信越市議会議長会(富山市) ～27日	正副議長
27	金	議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
28	土	小浜市赤十字奉仕団大会	議長
//	//	小浜市母子寡婦福祉連合会総会	副議長
29	日	小浜市障がい者スポーツ大会	議長・関係議員

5月

日	曜	行事等内容	出席者
2	水	川越市公式使節団歓迎会	正副議長
5	土	ふれあい健康ウォーク	議長・関係議員
8	火	議会運営委員会	関係議員
9	水	定例全員協議会	全議員
//	//	産業教育常任委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
11	金	産業教育常任委員会管内視察	関係議員
//	//	議会報告会(雲浜・内外海・松永・口名田)	全議員
15	火	北陸新幹線沿線自治体訪問(京都府京田辺市)	議長・関係議員
16	水	行政視察受入(あわら市議会)	正副議長・関係議員
//	//	議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
17	木	鯖街道まちづくり連携協議会総会	関係議員
//	//	産業教育常任委員会行政視察(徳島県美馬市・兵庫県多可町)～18日	関係議員
18	金	総務民生常任委員会	関係議員
19	土	小浜市区長総会	正副議長・関係議員
20	日	小浜市連合婦人会ソフトバレーボール大会	議長・関係議員
22	火	北陸新幹線建設促進大会、北陸新幹線建設促進同盟会総会(東京)	議長
23	水	北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
//	//	若狭地方町村議会議長会総会(おおい町)	議長
//	//	行政視察受入(広島県呉市議会)	議長
//	//	議会報告会(西津・国富・今富・加斗)	全議員

24	木	小浜市総合卸売市場取締役会	議長
//	//	株式会社まちづくり小浜取締役会ならびに株主総会	議長
//	//	株ケーブルテレビ若狭小浜定時株主総会	議長
//	//	北前船寄港地船主集落日本遺産認定セレモニー	全議員
25	金	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議(高島市)	関係議員
//	//	若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町)	関係議員
//	//	小浜市議会歴代議員懇談会	議長
//	//	議会報告会(小浜・宮川・遠敷・中名田)	全議員
26	土	小浜市水防訓練、議会災害対策連絡会議(訓練)	正副議長・関係議員
27	日	小浜男女共同参画ネットワーク総会	議長
29	火	議会運営委員会、議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
30	水	総務民生常任委員会	関係議員
//	//	全国市議会議長会定期総会(東京都)	議長
//	//	福井県交通安全協会若狭交通安全協会通常総会	副議長
31	木	北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会総会(敦賀市)	議長

6月

日	曜	行事等内容	出席者
1	金	全員協議会	全議員
//	//	北陸新幹線に関する市民団体との意見交換会	議長・関係議員
2	土	北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会理事会・総会	全議員
//	//	北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会役員会	議長
7	木	本会議、全員協議会、予算決算常任委員会	全議員
//	//	議会運営委員会、広報委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会	関係議員
8	金	若狭シルバー人材センター通常総会	議長
//	//	議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
//	//	若狭マリニピア 2018 実行委員会	議長
10	日	小浜市西組重要伝統的建造物群保存地区選定10周年記念式典	議長・関係議員
11	月	産業教育常任委員会、各派代表者会	関係議員
12	火	総務民生常任委員会	関係議員
15	金	地域防災・原子力安全対策特別委員会	議長・関係議員
19	火	議会基本条例検証・見直しワーキンググループ会議	関係議員
21	木	本会議、全員協議会	全議員
//	//	議会運営委員会	関係議員
22	金	本会議、全員協議会、予算決算常任委員会	全議員
//	//	広報委員会、各派代表者会	関係議員
//	//	小浜商工会議所議員総会	議長
25	月	全員協議会、予算決算常任委員会	全議員
//	//	総務民生常任委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
28	木	本会議、全員協議会	全議員
//	//	議会運営委員会	関係議員
29	金	若狭鯉川シーサイドパーク海開き	議長・関係議員
30	土	原子力規制委員会委員との意見交換会(敦賀市)	議長

北陸新幹線早期全線開業

特別委員会活動報告

京田辺市議会訪問

訪問日 平成30年5月15日
訪問先 京都府京田辺市

5月15日に下中議長と垣本委員長が、京都府の京田辺市議会を訪問し、奥西議長と意見交換を行いました。整備財源や早期実現などについて駅設置自治体を中心となって取り組むことの必要性など、今後は互いに連携し合うことを確認しました。

北陸新幹線に関する意見交換会

開催日 平成30年6月1日
開催場所 小浜市役所

6月1日に小浜市老人クラブ連合会、若狭青年会議所、小浜市連合婦人会との意見交換会を開催しました。議会からは、議長ならびに北陸新幹線早期全線開業特別委員会委員全員の合計9名、市民団体からは老人クラブ3名、若狭青年会議所3名、連合婦人会4名の合計10名が出席しました。

議会特別委員会の活動報告の後、

北陸新幹線に関する考えや、北陸新幹線の早期開業に向けての取り組み、また、全線開業に伴うまちづくりについての意見交換を行いました。



京田辺市議会議長との面談



市民団体との意見交換会

各市民団体からの主な意見

老人クラブから

○将来のことを考えると田んぼでは食べていけない。農地転用の緩和を図り、周辺のまちづくりをしていかなければならない。また教育や病院、交通の利便といった3要素がそろっていないと企業の誘致はなかなか難しい。

○企業は来てくれなくても、京都や大阪が通勤圏になる、今や東京の企業では静岡まで旅費が出る、そういう時代で、小浜に住んで大阪の学校にも通える。また、逆に大阪・京都の人がこちらに土地・建物を購入して住んでもらえれば一石二鳥で人口も増えることにもなる。

青年会議所から

○新幹線があるからこそ若狭が発展していけるといふところを市民

の皆様にお伝えしようと思う。もう間もなく2030年、まだまだやることはいっぱいある。やはり地域の皆さまのために、そのための活動を展開していきたい。

○敦賀開業が目前であり嶺南が密に連携し15年後を待たずに、観光客を呼び込む、観光地としての意識改革をしていかなければと思っている。

連合婦人会から

○京都まで19分と聞いただけで、夢のような話だと思うが、できるだけ早くできるようお願いしたいと思う。行政や議会で一生懸命考えていても、やはり市民一人ひとりが考えを持って、活動を盛り上げていくのが一番大事と考える。私達もできるだけいろんなところへ参加し、協力してい

きたいと思う。

○地元の熱意を若い世代に繋げることは大事なことだと思う。

是非とも1度は小浜駅から新幹線に乗ってみたいのその熱意を、私たちの世代だけが盛り上がっているのではなく、孫やひ孫の若い世代に繋いでいくことが私たちの大きな役割ではないかと思う。



産業教育常任委員会 管外視察研修報告

視察日 平成30年5月17日～18日

視察先 徳島県美馬市、兵庫県多可町

徳島県美馬市

SAVOR JAPANの認定を受け、先進地の取り組み状況を視察しました。

農産品については、少量多品目で農協などが介在しにくい状況のため、各農家が直売所などで自由に独自産品を販売。インバウンド観光については体験型で、言葉の壁は身振り手振りや翻訳アプリを利用した意思疎通で解消していました。また、民泊仲介サイトなどを活用した予約や売込み、Wi-Fi環境の充実、近隣市町や県との連携、民間の有料ガイドの活用などが図られていました。

生活する面では厳しい地域そのままを体験するプ

ログラムで、住民の受け入れ姿勢や独特の素朴さが外国人に受け入れられていると感じました。



徳島県美馬市

兵庫県多可町

3つの小学校を統合し2年が経過。統合に至る経緯、地域住民への説明、開校準備や通学、スクールバスの活用などこれまでの取り組みについての説明を受け、廃校施設の利活用、スクールバスの状況、統廃合前に想定していなかったこと、今後の課題などについて意見交換を行いました。

課題として学校との疎遠を感じる地域住民の意見が多くなったことから、平成30年度からコミュニティスクールを導入し、今後、学校運営協議会の開催を予定しているとのことでした。

統合準備委員会の立ち上げからアンケートや説明会を頻繁に行うなど、地域住民との意思疎通を重点

的に行った事が興味深く、小学校の現地視察では児童からも明るくのびのびとした印象を受け、常に地域住民と一体となった取り組みを統合事業に生かしていることを痛感しました。



兵庫県多可町

編集後記

平成30年7月豪雨により多くの方々が被害に遭われましたこと、心よりお見舞い申し上げます。過日行いました議会報告会では、避難所の対策や除雪対策、空き家対策、学校の跡地計画等々、地域の現状を心配するご意見が数多く寄せられました。

6月議会の補正予算におきましては、コミュニティ助成事業やふるさと自立活性化推進事業など、少子高齢化・人口減少が進む地域の課題を解決するための防災設備の充実、観光拠点づくりや地域特産品の開発および、住民連帯意識の高揚のための事業費などが計上されました。議会ではこのようなことを踏まえ、市民の生命財産を守り安全で、安心できる市民生活を送れるように積極的に取り組んでおります。

また、広報委員会といたしましては市民の皆さまに議会活動が分かりやすく、より親しみやすい議会だよりとなりますよう鋭意努力してまいります。市民の皆さま方のご意見ご感想などを遠慮なく議会にお寄せくださいますようお願い申し上げます。

(広報委員 牧岡輝雄)